

だい き よこ はま し ち いき ふく し ほ けん けい かく 第5期 横浜市地域福祉保健計画

けい かく き かん れい わ ねん ど 2024(令和6)年度—2028(令和10)年度

え が お
よこはま笑顔プラン



わ かり や す い 版 ぼん

み と な あ い
つ な が り
と も に



この計画は、横浜で暮らす人たちがお互い

- まちにはさまざまな人が暮らしています。その中には困っている人もいます。
- 困っていることを誰にも相談できず、もっと困ってしまうこともあります。
- 誰もが支えあって暮らせる「よこはま」をみんなで作るために、それぞれができることを考えて、行動するための計画です。



横浜市の計画は、横浜市全体の計画(市計画)と、18区それぞれの計画(区計画)と、自分が住んでいるまちの計画(地区別計画)があります。

市計画

区計画

地区別計画



助けあえるまちをつくるためのものです。

■ お伝えしたいこと

- (1) 自分のまちのことを考えてみてください
- (2) 話し合いの場があったら、参加してみてください

- どんなまちになったらいいでしょうか
- 困っていることはどんなことでしょうか
- できそうなこと、やりたいことはなんですか



基本理念

この計画の全体の目標です

誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる「よこはま」を
みんなで作ろう

→ それはどんなまちですか？

目指すまちの姿

【認めあい】

◎お互いを大切にして、自分らしく暮らせるまち

【つながり】

◎知りあいになって、心配したり、助けあったりしながら、
心も体も元気に暮らせるまち

【ともに】

◎助けが必要な人も助ける人も、一人きりにならないまち

→ なにをしますか？

- ① 住んでいるまちでみんなが助けあえるようにします。
- ② まちのための活動をする団体を支援します。
- ③ いろいろな人を大切にする考えをひろめます。
誰でも参加できる健康的な活動を増やします。



→ 誰が取り組みますか？

よこはま す ひと
横浜に住む人たちと

しやくしょ くやくしょ しゃかいふくしきょうぎかい ちいき
市役所・区役所、社会福祉協議会、地域ケアプラザが、取り組みます。



→ どのように取り組みますか？

しやくしょ くやくしょ しゃかいふくしきょうぎかい ちいき
市役所・区役所、社会福祉協議会、地域ケアプラザは、

つぎの事を大切にしています。

- ① 「横浜に住んでいる人の意見や、やりたいという気持ち」を大切にします。
- ② 「一人ひとりの普段の暮らし」を大切にします。
- ③ 今までのやり方にこだわらず「どうすればできるか」を大切にします。



「社会福祉協議会(社協)」とは？

だれ あんしん じぶん く
「誰もが安心して自分らしく暮らせるまちをみんなで作る」ことを目指す団体です。
まちの人と一緒に、一人ひとりの困りごとを受け止め、支えあえるまちをつくりま



「地域ケアプラザ」とは？

こうれいしゃ こ しょうがい ひと だれ ちいき あんしん く
高齢者や子ども、障害のある人など、誰もが地域で安心して暮らせるように、
身近な福祉や健康に関する活動を行っています。

とく 取り組みこと

1 す 住んでいるまちでみんなが助けあえるようにします たす



まちの人たちが
近所のつながりの中で、
助けあえるようにします

▶ 近所で、生活のことで
困っている人がいたときに、
気づきあえるまちづくりをします。

▶ 日ごろのつながりから、
自然に見守りあったり、
気かけあったりできるようにします。

▶ 住み慣れた場所で
安心して暮らせるよう、
支えあう活動を増やします。

まちの人と相談窓口や
いろいろな団体が、
困りごとがなくなるように協力します

▶ まちの人と相談窓口や
いろいろな団体が協力して
困っている人を支えます。

▶ いろいろな相談窓口や団体が
得意なことをいかせるよう
働きかけます。

▶ 助ける人が
一人で悩まないよう、
みんなで相談しあいます。

▶ 一人でいろいろなことで
困っている人をみんなで支えます。



身近なまちで、みんなが安心して生活していく権利を守るための活動をすすめます

▶ 一人で決めることに不安がある人たちの権利が守られ、自分らしく生活できるようにします。

▶ 一人で決めることに不安がある人たちも住みやすいまちになるように助ける人たちのつながりを広げます。



生活に困っている人も、安心して暮らせるようなまちをつくります

▶ いろいろな困りごとをみんなで力を合わせて解決します。

▶ みんながつながり一人きりにならないようにします。

▶ 助ける人が自分だけでがんばりすぎないよう支援します。

▶ 誰もが、居心地のいい場所や役割があるまちをつくります。

とく ■ 取り組むこと

2 まちのための活動をする団体を応援します



まちのために活動する団体を
応援します

▶ 自治会・町内会など、
まちの団体が活動を続けられるように
します。

▶ 健康や福祉のための団体が、
協力しあえるようにします。

▶ 健康や福祉のための
新しい活動を応援します。

福祉施設や会社、学校などが
自分から進んで
まちの活動を行えるようにします

▶ 福祉施設や会社が行う
まちを良くする活動を応援します。

▶ まちで行う活動に、
学校がもっと参加できるようにします。

▶ いろいろな人や団体が協力して、
まちの困りごとを
解決できるようにします。



**まちを良くするために、区役所・区社会福祉協議会・
地域ケアプラザが協力しあう体制をつくります**

- ▶ まちがより良くなるように、そのまちの様子や困りごとにあわせて支えます。
- ▶ 一人ひとりの困りごとがなくなるように、まちの人、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザが協力します。
- ▶ いろいろな相談窓口が協力して、一人ひとりの困りごとを一緒に受けとめられるようにします。

とく ■ 取り組むこと

3 いろいろな人を大切にする考えを広めます だれでもさんかできる健康的な活動を増やします



たようせい (いろいろな人がいること)
がわかり、人を大切にしようまちを
つくります

▶ 一人ひとりの違いを知り、
お互いを大切にする
地域をつくります。

▶ 普段の暮らしの中で、
まちの人がお互いに
わかりあえるようにします。

まちの中で、いろいろな人と
出会い、つながり、
参加できるようにします

▶ 「近所で知り合い、つながろう」という
考えを広めます。

▶ いろいろな人と人となが
つながるようにします。

▶ 楽しみながらボランティア活動が
できる工夫をします。

▶ 子どもの頃から近所とつながる
きっかけをつくります。

▶ 今の状況に合った
新しいつながりを考え、つくります。



いろいろな人^{ひと}がつながって健康^{けんこう}づくりをすすめます

-
- ▶ どんな人^{ひと}でも心^{こころ}と体^{からだ}を元^{げん}気^きにする場^ばに参加^{さんか}できるようにします。
 - ▶ 一人^{ひとり}ひとりが元^{げん}気^きに暮^くらすためのまちづくりをします。
 - ▶ まちの人^{ひと}や、いろいろな相談^{そうだん}窓口^{まどぐち}や福祉^{ふくし}施設^{しせつ}、会社^{かいしゃ}やお店^{みせ}などが協力^{きょうりょく}して、心^{こころ}と体^{からだ}を元^{げん}気^きにする場^ばをつくれます。



動画も見てね!



よこはましちいきふくしほけんけいかく
横浜市地域福祉保健計画
キャラクター
「ちふくちゃん」

とあさき
問い合わせ先

よこはましけんこうふくしきょくふくしほけんか
横浜市健康福祉局福祉保健課

住所 横浜市中区本町6-50-10

電話 045(671)3428

FAX 045(664)3622

メールアドレス

kf-chifukukeikaku@city.yokohama.lg.jp

しゃかいふくしほうじんよこはまししゃかいふくしきょうぎかい
社会福祉法人横浜市社会福祉協議会

住所 横浜市中区桜木町1-1

電話 045(201)2090

FAX 045(201)8385

メールアドレス

kikaku@yokohamashakyo.jp

きょうりょくしゃふくかいだいしゃこうざいよこはましこくさいこうりゅうきょうかいよーく
協力：(社福)かたるべ会 第2かたるべ社／(公財)横浜市国際交流協会(YOKE)

くわしくは、

よこはましちいきふくしほけんけいかく
横浜市 地域福祉保健計画

けんさく
検索

れいわねんがつほっこう
令和7年3月発行